

平成30年度 第3回学校運営協議会 記録 (概要)

- 1 開催日時 : 平成31年2月20日(火) 15時30分～17時
- 2 開催場所 : 池田高等学校 校長室
- 3 運営協議会メンバー:

①運営協議会委員 (委嘱委員)

(会長)	桑畑 進	(学識経験者) 大阪大学教授
(副会長)	萬川 幹夫	(学校の運営に資する活動を行う者) 同窓会会長
	阪 晃一	(地域住民) 池田市立石橋中学校長
	松浦 周介	(地域住民) 旭丘自治会
	鍋島 浩	(学校の運営に資する活動を行う者) 後援会会長
	高橋 修	(保護者) 平成30年度PTA会長

②事務局員 (校内出席者)

校長	若林 智子	事務長	板谷 卓 (欠)
教頭 (事務局長)	伊藤 倫隆	首席	深江 泰彦 (欠)・森 真哉

※記録: 首席

4 内容:

教頭の司会により学校運営協議会開催

- (1) 配付資料説明
- (2) 校長挨拶
- (3) 協議 *桑畑会長を議長として協議をおこなう
- (4) 保護者等からの意見、その他

5 協議事項:

1) 学校経営計画 平成30年度評価 (案) について

▼校長より「学校教育自己診断結果分析」等、評価指標と照らし合わせた達成状況及び評価 (案) についての説明をおこなった

- ・学校教育自己診断の肯定率を評価指標としている項目が多いが、今年度は昨年度に比べて肯定率を下回っている項目が多い。自然災害が多く生起し、それに伴い授業日や行事の日程等を大幅に変更せざるを得ない状況が影響していると考えられる
- ・自学自習力育成と自習環境の整備の項目は、授業アンケートによる検証で目標 2.75 に対して 2.77 と目標を上回った
- ・国際理解教育推進、実践的英語力向上の項目で、GTEC 平均点が 465 点から 486 点に、また 1 分間に読むことができる語数が 73.8 から 81.5 に大きく上昇した
- ・中学生を対象とした広報活動推進の項目で、来場者数が 1,300 名から 1,961 名に増加した

▽意見交換

- (委員) 評価の「◎ ○ △」の違いは何か
- (学校) 数値や内容で判断をした
- (委員) GTEC の平均点がよく伸びているので、○ではなく◎ではないのか
- (学校) 実施時期が昨年より遅れたことを考慮し、○とした
- (委員) 数値が伸びた、という明確な点を評価すれば良いと思う — ◎に修正
自然災害の影響は大きいと思うので、評価基準も明記すれば良いと思う

2) 学校経営計画 平成31年度計画(案)について

■座長より、平成30年度との変更点を校長先生に説明してもらい、平成30年度評価(案)について言及する部分があれば同時に協議したい、と進行についての説明アリ

▼校長より、変更点を中心とした説明をおこなった

- ・めざす学校像 1 [本校生には論破! というよりは対話というイメージが合う]
(H30) 変化する社会を自分の視点で捉え直し、考えが異なる相手にも論理的に意見を主張し、共通の合意を見出すコミュニケーション能力を育成する
(H31) 変化する社会を自分の視点で捉え直し、自分らしく人の役に立つ意識を向上し、言葉や表情で様々な人とコミュニケーションできる能力を育成する
- ・今年度整備した「池高ラボ」についての項目を入れた
- ・平成30年度の肯定率が前年度より下がっているため、評価指標には明確な数値を記載せず、前年度より上昇という表記を使用している

▽意見交換

(委員) 人権教育に関する視点の項目はどこにあるのか。将来、社会で指導者となる可能性が高いと思われる池田高校の生徒に対して人権教育にも積極的に取り組むべきではないか

(学校) ご指摘の通りである。ご意見を鑑み、3『総合的な人間力育成』の(1)3年間の教育プログラムに基づく生徒育成ならびに(5)国際理解教育推進の項目に、より具体的な表記を加筆したい

(委員) 学校教育自己診断の質問11「命や人権の大切さについて学ぶ機会がある」における肯定率は8割を超えており、生徒たちは日常の学校生活の中で人権の大切さについて学習していると言える

(委員) 学校教育自己診断の質問4「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」での2年生の肯定率が低いのではないかと。また、課程学習の少なさが自己診断から読み取れる

(委員) 生徒たちが発信しているツイッターを偶然見る機会があったが、従来型の授業を希望している生徒も多いように感じた

(学校) 従来型の授業に安心感を覚える生徒が多いことは承知しており、今後の課題と考えている。形式ではなく、「目標と振り返りのある授業」を確立したい

(委員) 次回の授業の目標をしっかりと定め、生徒に明示すれば予習がし易くなる

(学校) 主体的で深い学びには、積極的に取り組んでいく

(委員) 授業アンケート項目「先生は生徒が考えたり、考えを述べたり、生徒同士が学び合ったりする時間を授業に取り入れている」で、3.1(満点4)となっているのは素晴らしいことである

(委員) GTECの点数が上がったのには何か理由があるのか

(学校) 4技能を意識した取組みも進み、英語授業の質の向上が大きな要因と言える

(委員) 学校教育自己診断の質問9「先生は、私たちがいじめで困っていることがあれば、真剣に対応してくれる」での否定的回答が5%程度ある。この生徒たち(回答数)を放置すべきではない

(委員) ほとんどの生徒がいじめに関与しないと言えるにもかかわらず、このような質問をするのは意味がないのではないかと

(学校) 設問の内容についての検討を続けていきたい

(委員) 相談週間等を設けるのも良いかもしれないが、カウンセラーは常駐しているのか

(学校) 常駐ではないが、年間14回、カウンセラーが相談室で半日は対応している

※いただいたご意見を反映して平成31年度計画(案)を修正することとした

※保護者からの意見等はなかった